


# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネット録画配信をしています。また、議員名の横の2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)。

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。9月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。【インターネット録画配信もご覧ください】



**ノン・アスベスト社会の構築に向けて!**  
望月 高志 (日本共産党)

## その他のテーマ

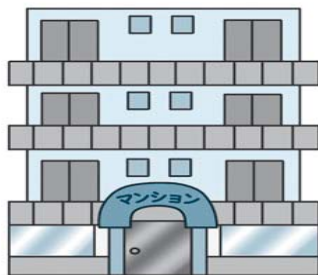

- ▶ 東鶴ノ木団地のアスベスト
- ▶ アスベストマップの製作
- ▶ 茶の花号の路線延伸



### ◆アスベスト対策

- ①東鶴ノ木団地のアスベスト対策の状況は。
  - ②東鶴ノ木団地のアスベストの今後の対応は。
  - ③アスベストが存在する公共施設を公表する考えは。
- 都市建設部長** ①平成21年3月に、既存天井の上に新たに天井材を取りつけ、アスベストを含んだ「ひる石」を露出させないようにする囲い込み工法による対策工事を実施した。
- ②囲い込みを行った住居におけるアスベストの飛散は考えづらいが、日常管理の中で、入居者と一緒に状況を確認し、不具合が生じた場合には、適切に対応措置を講じていく。
- ③吹きつけ材のアスベスト含有量が規制値を超えていた施設は、既に施設を解体するか、アスベ

ストの除去を実施した。囲い込み工法で対策工事を実施した市営住宅東鶴ノ木団地は、入居者に周知しており、市の公式ホームページでも公表している。旧し尿処理場は、すべての窓や出入り口を板で覆い、飛散しないようしているが、現在施設を使用しておらず公表はしていない。今後、公表することも検討したい。

**被災時に他市から支援を受ける体制の整備を**  
矢馳 一郎 (創造)

## その他のテーマ

- ▶ 市の業務へのドローンの活用
- ▶ 昨年の台風9号対応の教訓
- ▶ 防災訓練計画への女性の参加



### ◆災害時受援計画の策定

数度提案しているが、平時の職員数を減らすことは費用削減の効果がある一方、災害時などの緊急対応人員の不足が予想される。それらを補うため、他市からの応援を効果的に受け入れる計画の早期策定が求められるが、見解は。

**危機管理監** 災害時受援計画を策定するには、災害時に支援を必要とする内容を事前に特定し、人員や物資などをリストアップする必要がある。そのための時間を要することから、平成30年度中の計画策定を目指している。

の業務への活用の可能性が大いに感じられる。現在の検討状況は。


**危機管理監** 災害時のドローンの活用は、導入機種、飛行範囲や空域、オペレーターの養成など具体的に検討を行っていく。また、防災対策以外にも、さまざまな分野で活用が期待できることから、関係課と検討していきたい。



被災時に支援を受け入れる準備を

### ◆ドローン活用への積極的な取り組みを求め

過去にも指摘しているが、今後ますます技術革新が進んでいくドローン(無人航空機)は、市



**生活保護の目標は「憲法25条の達成」に!**  
猪股 嘉直 (日本共産党)



### ◆生活保護

生活保護の対応として、相談者には必ず保護申請の意思を確認すべきでは。

**福祉子ども部長** 相談者の状況を確認した上で、他制度の活用などについて助言を行うとともに、生活保護制度の仕組みについても十分な説明を行い、保護申請の意思を確認している。

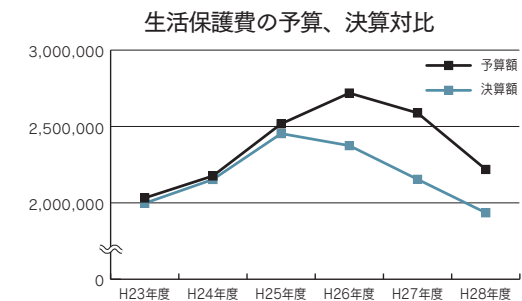

### ◆公共交通

- ①笹井・根岸地域からの要望が多い、入間市へのバス乗り入れの考えは。
  - ②公共交通の見直しで予算はどう変わるか。
- 市民部長** ①水富循環コースのルートを入間市野田にある商業施設まで延長する案を地域公共交通会議に提示し、具体的な検討を進めている。

## その他のテーマ

- ▶ 入間市へのバスの乗り入れを
- ▶ 生活保護申請は国民の権利
- ▶ 生活保護予算の拡大を!

②平成28年度決算では、バス事業者への運行補償を含め約4,797万円であった。現在、地域公共交通会議で市内循環バスのルートの見直しを検討しているが、バス事業者への運行補償料の上限を4,000万円程度としていることから、運行経費の総額も、現行と大きく異なることはないと考えている。

**誰にも優しい『共生社会』の実現を目指して**  
笹本 英輔 (創政会)



### ◆狭山市を誰にも優しい街に

①私たちにできる心づかい、障害のある方々への「合理的配慮」について、今後どう周知するか。

②障害のある方、ない方が継続して一緒に生涯学習やスポーツに取り組める機会の拡充は。

**福祉子ども部長** ①広報紙やホームページをとおして障害特性の理解促進に努めてきたが、今後は、何に困り、どのような配慮が必要なのかを学ぶことで各種障害への理解を深めていく「あいサポート運動」に取り組んでいきたい。この運動が市民や企業、学校にも広まり、サポーターが増え、市民全体の意識の醸成が図られるように、本格実施に向けて準備を進めている。

**生涯学習部長** ②中央公民館や水野公民館では、ボランティアの補助を受けながらさまざまな取

## その他のテーマ

- ▶ 障害への理解を地域で深める
- ▶ 地域や学校で一緒に活動する機会
- ▶ 共に取り組めるスポーツを推進

り組みに挑戦するなど、障害のある方の社会参加の促進を図っており、今後も、公民館事業などを通じて、生涯学習活動を推進していきたい。また、地域の運動会では、障害のある方も含め、より多くの方が参加できるように、運動会のあり方や種目の見直しなどを行った地域があり、こうしたことを他の地域にも知らせていきたい。



地域や学校で、みんな一緒に!

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-29953-1111 内線3313